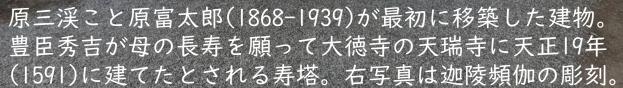




三渓園園内図

三渓園パンフレットより

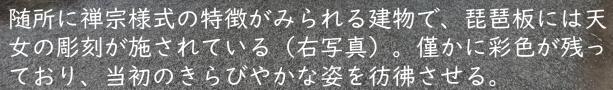






旧天瑞寺寿塔覆堂







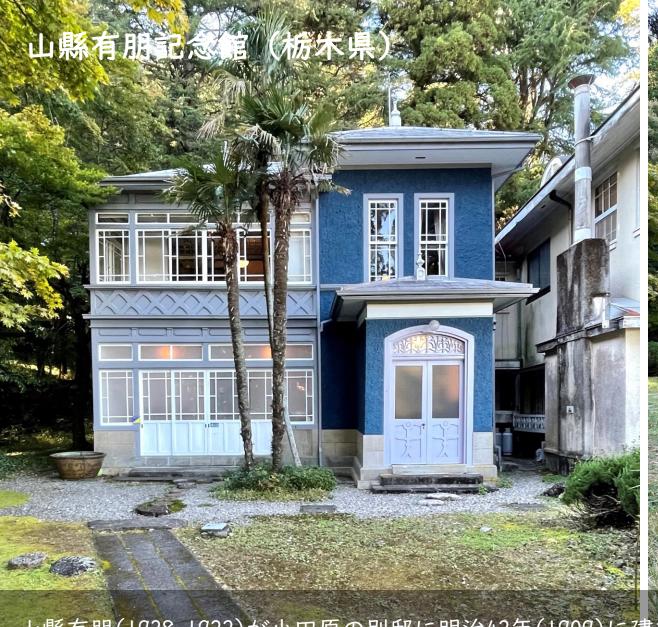
旧天瑞寺寿塔覆堂

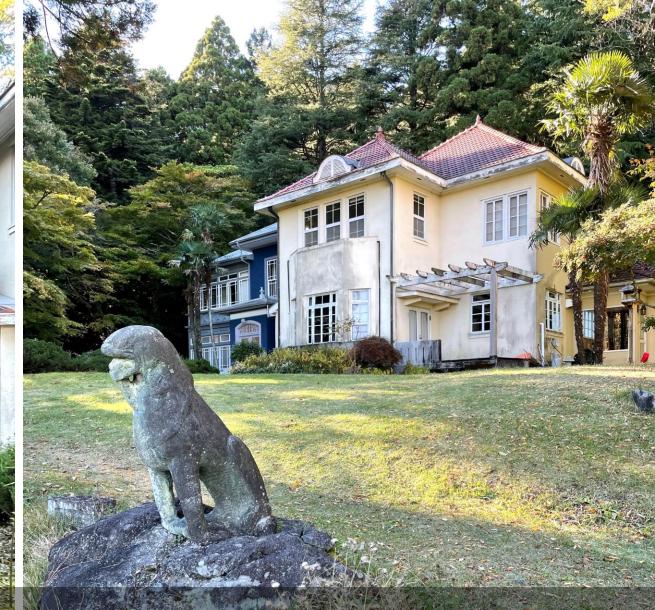


春草蘆



伽藍石 東大寺礎石?

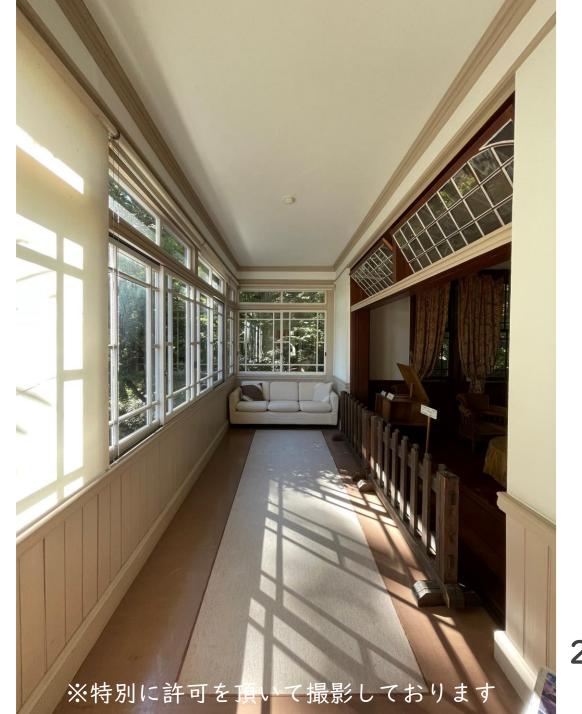




山縣有朋(1938-1922)が小田原の別邸に明治42年(1909)に建てた洋館を移築した建物。大正12年(1923)の関東大震災にて被災したため、嫡男である伊三郎が現在の栃木県矢板市に移築した。



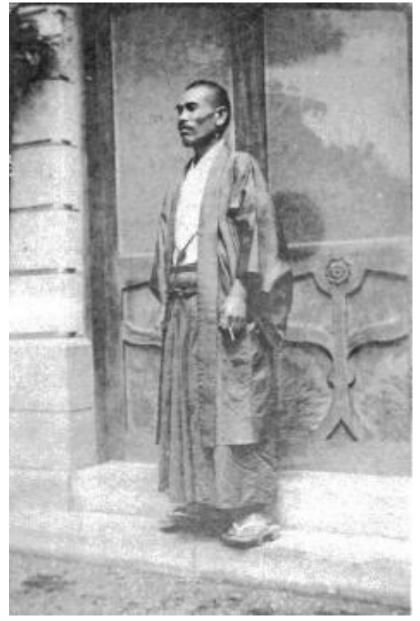
2階応接室



2階応接室前サンルーム

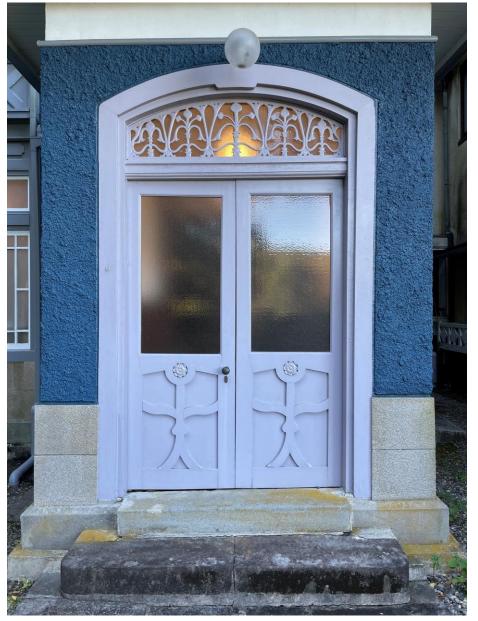


上部回転窓



古稀庵内洋館入口

出典:『山縣有朋旧邸 小田原古稀庵 調査報告書』 千代田火災海上保険株式会社、1982年、p.66



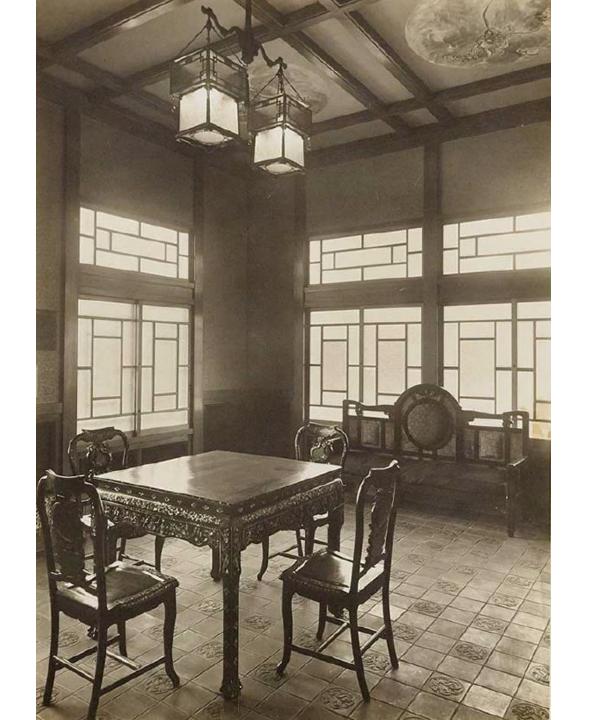
現山縣有朋記念館入口



「荻外荘」の客間棟であった部分を、昭和35年(1960)に豊島区内に移築した建物で、平成30年(2018)まで大切に使われていた。瓦や基礎、建具や敷瓦等当時のものが多く残っている。杉並区の「荻外荘」への移築のため平成31年に分解し、各種部材は保管されている。



談話室 (旧応接室)



応接間の竣工写真



広間・廊下



創建時の応接間の建具



創建時の応接間敷瓦



創建時の建具と摺ガラス

保存されている当初の部材 (一部)